

# やまゆりニュース

「やまゆりニュース」第14号 発行日：平成26年10月1日  
 発行元 NPO法人あさお市民活動サポートセンター  
 〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5  
 TEL.044-951-6321 FAX.044-951-6467  
 発行人：植木昌昭 編集人：佐々木直子

## 川崎市麻生区市民活動支援施設 麻生市民交流館やまゆり

### 目次：

- 皆さんのアイデアを「やまゆり」に！ 1
- A【安全・安心】**  
住宅の防犯診断 2
- S【サプライズ】**  
こども映画大学 2
- A【アミューズメント】**  
しんゆりマルシェ 3
- O【お役立ち情報】**  
おもちゃ病院 3

### やまゆりからのお知らせ

- 「目指せ！アクティブシニアたちの  
セミナー」開催 4

## 皆さんのアイデアを「やまゆり」に！

### 「サロン文化の創造」 合言葉は「お金を使わず、頭を使おう」

やまゆりでは参加型のイベント「サロン文化の創造」というテーマを持って、やまゆりを夢空間にする努力を続けています。

メンバーの合言葉は「お金を使わず、頭を使おう」ということで、かなり手作りにこだわって機材の充実を図っています。

機材の充実した「やまゆり」を仲間の交流の場に使わない手はありません。最近では、飲食が可能な平日夜間・土日の利用が急増しています。

アイデア次第でいろいろな利用スタイルが可能な「やまゆり」を、さらに活用ください。

理事長 植木昌昭



★サロン周囲をカーテンで囲み各種ライティングで雰囲気

★プロジェクターを利用画面を見ながら思い出を語ろう



★テーブルにムードを

キャンドルのようなLEDライト



★のど自慢にカラオケを  
ラックは運営スタッフ  
お手製



★P A 装置で音楽の効果を



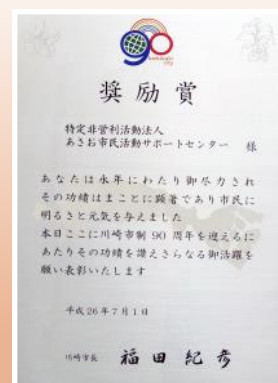
その他の機材

ピアノ、DVDプレーヤー、CDラジカセ、簡易舞台、展示パネルなど

## 奨励賞受賞

麻生市民交流館やまゆりを管理運営しているNPO法人あさお市民活動サポートは、7月1日の川崎市制90周年の式典において奨励賞を受賞することができました。

これは、利用していただいている区民の皆さま、また活動資金を支援して下さる正賛助会員の皆さまのご支援のおかげと、感謝申し上げます。





# Anshin 安心

## 「住宅の防犯診断」

### ストップ侵入犯！ 安心のまちづくり

川崎市では、専門の職員が一戸建て住宅、アパートやマンションなど共同住宅の防犯診断を無料で実施している。

診断する人は、川崎市安全・安心まちづくり対策員（警察OBなど知識・経験豊かな職員）。空き巣などの防犯対策の観点で、塀や植栽など家の外周や構造、ドアや窓の鍵など、防犯上の問題点を診断し、アドバイスしている。



麻生区役所ロビーで開かれた「出張防犯相談コーナー」（7月25日）。次回は11月7日（金）10～15時

川崎市で発生した空き巣被害は、平成25年中は市内336件、麻生区は30件。平成26年は8月末現在で、市内186件、麻生区26件となっている。

また、神奈川県警の平成25年統計によると、県内の空き巣被害は一戸建住宅62%、中高層住宅8%。侵入口は居室31%、縁側・バルコ23%。侵入手段は、ガラス破り51%、無締り25%で、窓ガラスを割って屋内に侵入する手口が目立つが、カギのかけ忘れも多い。

侵入ドロボーは、音・光/目・時間を嫌うというから、対策は打てる。

「音」は、扉やガラス窓を破壊した際に大きな音を発する衝撃センサーなどを、「光/目」は、家の見通しをよくし明るく照らすセンサーライトなどを設置する。「時間」は、ドロボーは侵入に5分以上かかると7割はあきらめるようだから、補助錠、防犯ガラス、防犯

今年度4～8月の診断件数は川崎市内61件、麻生区1件



イラスト「住宅の防犯診断」チラシより（川崎市）

フィルムなど防犯性能の高い建物部品を設置したい。

アドバイスをもらい、防犯意識を高めて、自分の財産は自分で守りたいものだ。

#### 【防犯診断に関する申し込み・問合せ先】

川崎市 市民・子ども局市民生活部地域安全推進課

☎044-200-2284 FAX 044-200-3869



青色回転灯の防犯パトロールカーが、お宅にうかがい「防犯診断チェック表」を基に診断

取材・文 区民記者 石崎純也



# Surprise サプライズ

## 「こども映画大学」開催

### 本格機材を使って映画制作に挑戦

撮影風景



小学生が本格的な撮影機材を使って映画が作れる。麻生区役所子ども支援室と日本映画大学のコラボ行事「こども映画大学」が、8月21日～23日、白山の日本映画大学で開催された。

抽選で選ばれた麻生区内の小学4年から6年生の生徒29名が、大学生の手助けを得ながら、力を合わせ3日間の映画制作に挑戦した。

シナリオ作成、役割（俳優、監督、助監督、カメラ、録音）分担をし、場所選び、撮影、編集、上映会までをこなす。ハードなスケジュールだ。

まず、参加者それぞれが2時間かけて書いたシナリオの中から、「告白」「カブトムシの精」が選ばれた。話の展

開やセリフも子どもらしい。次に、撮影機材について学び、役割分担を決めて、1日目終了。

2日目は2組に分かれ映画づくりがはじまった。シナリオを頭に入れて、場所の選定に入る。俳優のセリフ、動き、場面やカット割り、カメラ位置の設定など、考えなければならないことはたくさんだ。みんなで話し合い最後に監督が判断する。

何度かトライしてほぼ固まったところで、カメラとマイクが入り撮影開始。納得がいくまで繰り返す。集中して撮影を進める。頑張っ夕方に撮影終了。



編集作業

次は編集だ。大学生に教わりながら編集ソフトを使って、演出意図に合うよう、カットの繋ぎ、画像の修正、音声の入れ方に工夫して4時間、約3分の映画がついに完成だ。



講師（映画監督）の熊沢誓人さん、手助けの大学生と子どもたちとの記念撮影

手拍子に迎えられて上映会場に入場。やり遂げた満足感、子どもたちはみんな笑顔だ。迎えるお父さんお母さんも笑顔だ。

作品が上映されたあと、制作に加わった子どもたちが紹介される。各自が役割を果たし、共同作業で一つの作品を作り上げた。子どもたちの晴れがましい顔。一人一人の感想が、参加者の心を和ませ胸を打った。

子どもたちは、この夏、大きなことに挑戦しやり遂げ、いつまでも心に残る得がたい貴重な体験をした。

取材・文 区民記者 吉田清次



# A Amusement アミューズメント

## 「しんゆりマルシェ」みんなおいてよ！ 街は丸ごと“カーニバル”

麻生区の名物イベントが、またひとつ誕生する。

10月25日(土)、新百合ヶ丘駅南口界隈を会場に繰り広げられるアートと食の祭典『しんゆりマルシェ』。麻生の自慢が勢ぞろいする。

第1会場には、近隣から採れたて野菜が届き、地元のベーカリーやパティシエの味も並び、食べ歩きを楽しみながら、音楽とダンスのステージパフォーマンスを観覧しよう。

手作り雑貨やクラフト作品のショップが続く第2会場。ぶらり歩けば、お気に入りとお出合いも。そして人気を呼びそうな親子参加型ワークショップ。「パラソル



でアートを作ろう」(写真)をはじめ、さまざまな工作が無料で楽しめる。

ほかにも盛りだくさんの内容。イラストマップを片手に散策し、目で・耳で・ハートで・胃袋で、根こそぎ楽しみたい。

この祭典の特色は、企画と運営に多くの大学生が参加していること。オリジナリティ溢れる発想を形にしていける若者たち。チェック&サポートだけではなく、ともに楽しむことで、若者たちの熱意に応じていく実行委員の方々。そして目指すは、この街に集う誰もが楽しめる賑わいの一日。

その一日を満喫したとき、私たち市民は“若き才能”とともに、新しい街づくりへ踏み出すことになるだろう。

さあ、出かけよう！ 元気ひしめく祭典へ。



©しんゆりマルシェ実行委員会

### DATA

**日時:** 2014年10月25日(土)  
10~16時  
荒天の場合は26日(日)に順延  
**場所:** 第1会場  
新百合ヶ丘ハウジングギャラリー  
第2会場  
ゆりてらす・リリエヌ通り  
(新百合ヶ丘駅南口広場)  
**入場料:** 無料  
**主催:** しんゆりマルシェ実行委員会  
**連絡先:** ☎044-281-5036  
FAX: 044-966-6305  
<http://shinyurimarche.jp>

取材・文 区民記者 落合ふみこ

# O Oyakudachi お役立ち情報

## 「おもちゃ病院」

### ありがとうのことばと笑顔に魅せられて

大切なオモチャがこわれて悲しむ子どもの姿を目にするのは、親にとっても悲しいものだ。そんなときは、無料で直すおもちゃドクターに連絡を。

「自分たちが、孫の世代にできることが何かないだろうか」と、子どもとオモチャが大好きなメンバーが集まり、高津区などで活動してきた。今年、「やまゆり」での「ビバ!かがやく子どもたち」に参加した。好評を得たので、この10月から麻生区でも「おもちゃ病院」をはじめます。



「ビバ!かがやく子どもたち」でのにぎわい  
(2014.6.1 市民交流館「やまゆり」にて)

その子にとっては唯一無二のオモチャを直すにあたっては、ネジ1本、ビス1個まで注意を払う。オモチャが動き出すと嬉しいが、それ以上に、ニッコリ笑った子どもの笑顔と、ありがとうのことばが何よりの励みとのこと。

こわれた部品を揃えるために、事前の連絡を原則としている。時間内での修理を心掛けているが、預かり修理もあり。

先ずはこの活動が、クチコミで徐々に広がり、多くの子どもたちがおとずれることを願っている。また、機械には無縁であっても、子ども好きな女性を含む方々へ、会員募集中。直し方を教える仕組みもある。



△やさしく頼りになるおもちゃドクターが待っている

▽ラジコンが直って笑顔がいっぱい!  
「ありがとうございます」の音が部屋中に響いた

### DATA

**団体名:** おもちゃ病院  
**代表:** 丸岡 慎(しん)  
**連絡先:** ☎090-3224-2817  
**設立:** 2014年10月  
**会員:** 5名(男性5名)  
50~70歳代 60歳代が主体  
**会費:** 3000円/年  
**入会金:** 1000円  
**修理費:** 無料(原則予約制、2日前まで)  
**活動日:** 初回 2014年10月8日  
以降 1、4、7月 第2水曜  
14~16時  
**活動場所:** 市民交流館やまゆり

取材・文 区民記者 中島久幸

# お知らせ

## 「目指せ！アクティブシニアたちのセミナー」 平成27年も開催されます

ついに男性の平均年齢が80歳を超え、超高齢社会が現実のものになってきました。

麻生区では、毎年開催され、最初の講座から生まれた「かよおう会」は10年目をむかえました。今までの参加者の動機は、「何もすることが、ないので」という人から、「女房に尻を押されて」など多士済々ですが、講座終了後は川崎都民から脱皮し、麻生区を知り、新しく地域の仲間ができたと言っています。

会社人間だった頃は、人との交流も仕事の内容も時間もすべて枠にはめられていて、自分を活かしきれなかったはず。

古い垢を落とし、自分を見詰め直し、新しい生き方に挑戦しませんか。

これからは…  
スーツを脱いで♪



**日時：** 平成27年1月17日～2月21日  
毎週土曜 10～12時 (全6回)

**場所：** 麻生市民交流館やまゆり

**対象：** そろそろ定年退職の方、  
すでに定年退職された方  
子育てを終えられた女性の方々

**定員：** 25名

**受講料：** 無料

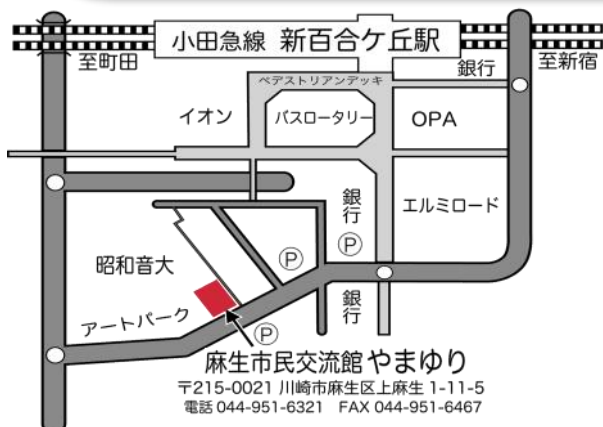
**申込：** 平成26年11月15日(土)から先着順応

**募方法：** 住所・氏名・電話・FAXを記入の上、  
FAX・ハガキ・電話で下記まで  
【主催・申込・問い合わせ】  
NPO法人 あさお市民活動サポートセンター  
〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1丁目11番5  
☎044-951-6321 FAX 044-951-6467

### 【プログラム】 いずれも10～12時

開催日	内容(予定)	講師(予定)
1月17日(土)	オリエンテーション 自己紹介	参加メンバー全員
1月24日(土)	講座 「麻生区について」	麻生区役所職員
1月31日(土)	グループディスカッション 「これからなにをしたいですか？」	参加メンバー全員
2月7日(土)	講座 「シニア世代の地域活動」	かわさき市民活動センター 理事長 小倉敬子
2月14日(土)	講座 「アクティブシニア先輩の助言」	地域で活躍するアクティブシニア2人を予定
2月21日(土)	グループディスカッション 「グループづくりへ向けて」	参加メンバー全員

\* プログラムは都合により変更になることがあります。ご了承ください。



#### 【開館日】

月曜～金曜 9時30分～17時  
※平日の夜間、土曜・日曜、  
祝日も予約すれば利用可。  
休館：年末年始、施設点検日

#### 【アクセス】

小田急線「新百合ヶ丘駅」  
南口から徒歩4分

#### 【ホームページ】

<http://web-asao.jp/yamayuri/>

## あさお区民記者

区民による、区民のための情報発信  
を目的に活動。

区民記者は「やまゆりニュース」掲載記事の企画構成・取材撮影を担当しています。過去の取材記事はホームページに掲載しています。

<http://www.asao-ku.net/yamayuri-news.html>